

情報技術(I T)関連の地場企業が、医療、福祉分野向けの商品開発に力を入れている。医師の診断を補助するソフトや高齢者が使う通信機器などを、医療機関や福祉施設に売り込む。製造業に比べ不況の影響が比較的少なく成長が見込める分野とみて参入が相次いでいる。
(新山創、畑山尚史)

診断ソフトや高齢者向け端末

理したエックス線写真「入れたい」と話す。採用した。納入台数は約八百台。高齢者宅と、軟骨の厚みを測定ソフト開発のコトブキソリユーション(呉)役場をつなぎ、安否確認ができる」とする。医療、福祉分野へのIT導入は国の重要課題でもある。中国総合通信局は「ITを活用できる余地は大きい。一年以内に医療機器単にテレビ電話として使える通信機器で、島根県奥出雲町が一月に根拠を始めた事業で同端末を入手者の安全確保のために、

不況影響少なく期待

画像処理ソフト製造 光学機器メーカーへの販売のイノテック(広島)画像処理ソフトの納品がすく減って痛む状況で製造業向けソフトの節症の診断用ソフトをの売り込みが厳しい開発した。デジタル処 中、医療分野にも力を



ひざを診断するソフトを説明するイノテックの伊藤社長(広島市中区)

IT関連企業 医療福祉に商機

中国
地方



4月10日(金)

発行所
広島市中区土橋町7番1号
〒730-8677

中国新聞社

電話(082)236-2111(受付案内台)
郵便振替口座 01370-0-57

ホームページ
<http://www.chugoku-np.co.jp/>